

大阪・関西万博 理念継承とレガシーの発展に向けて（報告書）（案）  
に対する意見募集の結果について

令和8年6月16日  
経済産業省商務サービスグループ 博覧会推進室

経済産業省では、大阪・関西万博 理念継承とレガシーの発展に向けて（報告書）（案）について、令和8年5月1日から同年6月1日まで意見公募手続を実施しました。その結果は以下のとおりです。

今回の意見募集に当たり、御協力いただきました方々へ厚く御礼申し上げますとともに、今後とも経済産業行政に御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

1. 意見募集の実施方法

- ・ 募 集 期 間 : 令和8年5月1日（金）～令和8年6月1日（月）
- ・ 告 知 方 法 : 電子政府の総合窓口「e-Gov」における掲載
- ・ 意見提出方法 : 電子政府の総合窓口「e-Gov」、郵送及び電子メール

2. 意見募集の結果

意見提出件数：37件

※意見提出者の数を示しています。

3. お問合せ先

経済産業省商務サービスグループ 博覧会推進室

電話番号：03-3501-0289

## 提出意見及び意見に対する考え方

No	提出意見の内容	意見に関する考え方
1	<p>関西万国博覧会の光の部分にしか焦点を当てておらず、全く以て滑稽な報告書と断じざるを得ない。本稿意見者が考えるだけでも蓋し次の視点についての言及が何も無いのは極めておかしい。少なくとも理念継承とレガシーの発展に向けてというには。</p> <p>1. 跡地活用について これについては IR が決まっているわけなのでそこについての言及が何も無いのは不作為に近い。</p> <p>2. 大阪メトロ中央線故障による閉じ込め</p> <p>3. 不良EVバス問題 これらについては交通機関の問題であり、レガシーの発展について有意に関連性があるにも関わらず言及がないのは不作為と断じざるを得ない。</p> <p>4. 建設費未払い問題 今なお適切な補償を受けることが出来ず倒産に瀕している方々が「剰余金」などとの文言が躍る本報告書をみたらどのように考えるか。全く配慮のない報告書と断じざるを得ない。剰余金が潤沢にあるような書きぶりとなっている。配慮のある文面書きぶりに修正願う。</p>	<p>報告書（案）の「おわりに」では、「一連の課題についての検証は博覧会協会をはじめ、様々な主体において実施されているが、これらは後継組織にも引き継がれ、次期博覧会等への運営ノウハウの提供等の形で活かされていくべきもの」としております。なお、御指摘を踏まえ、大阪・関西万博に関する諸課題については、第4回 2025年日本国際博覧会成果検証委員会で資料として公表いたしました。</p> <p>また、夢洲では、国際観光拠点の形成をめざし、第1期区域では IR を中心としたまちづくり、第2期区域では万博の理念を継承したまちづくりを進めることとし、万博レガシー継承の観点からは第2期区域のみならず、その周辺も含めた一体的なまちづくりが進められることと承知しています。なお、ご指摘の万博の跡地となる区域は主に第2期区域であり、IR事業を行う第1期区域は含まれていないものと承知しています。</p> <p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題については、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会と</p>

	<p>しては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p> <p>EVバスの問題については、関係機関において適切に対応されるものと承知しております。</p>
<p>2 1. 「大阪・関西万博の開催実績及び取組、成果を検証」とあるが、本案ではポジティブな記載しかなく、万博の開催実績及び取組、成果の検証としては不十分に見えます。開催において課題となった事項、課題となったが解決された事項、などのネガティブあるいはネガティブな要素を含む情報についても報告書には記載し、次につなげることこそ真にレガシーとなるのではないのでしょうか？</p> <p>私は万博を妻子とともに楽しみ、今回の万博に対して全くネガティブな感情は有しませんが、それとは別にネガティブな情報を今後に明記して残さないことはプロジェクトの有りようとして不健全に思います。</p> <p>2. 関係者にとって多数の点が指摘されるかと思いますが、一人の市民として、具体的ネガティブな情報には（１）ネガティブ・キャンペーンにも見える偽誤情報の発信、（２）デザイナー等の個人への批難・攻撃的な情報発信、（３）8/13夜の地下鉄停止に伴う混乱、以上を挙げます。なお、こういった要素を全て記載することを求めるわけではなく、例えば「情報発信」の視点などで次に繋ぐべき知見があるように思っている指摘です。</p> <p>（１）について、多くの偽誤情報が流れていましたが、例えば「危険な水準のメタンガスが発生している」（参考１）として万博の中止、来場の自粛を求める動きがありました。相当に早い時点から公式に問題無いとカウンター情報が発信されていたように記憶していますが、テレビ等も含めて相当の期間にわたって言及されていました。</p> <p>（参考１）<a href="https://www.jcp.or.jp/akahata/aik23/2024-03-31/2024033101_02_0.html">https://www.jcp.or.jp/akahata/aik23/2024-03-31/2024033101_02_0.html</a></p> <p>（２）についても多くの事例がありましたが、例えば所謂「２億円トイレ」では多数の批判が寄せられたうえでデザイナー自身が SNS を通じて意見表明・説明せざるを得ず多くの攻撃的な投稿がデザイナー個人に向けられました。</p>	<p>報告書（案）の「おわりに」では、「一連の課題についての検証は博覧会協会をはじめ、様々な主体において実施されているが、これらは後継組織にも引き継がれ、次期博覧会等への運営ノウハウの提供等の形で活かされていくべきもの」としております。なお、御指摘を踏まえ、大阪・関西万博に関する諸課題については、第４回 2025 年日本国際博覧会成果検証委員会で資料として公表いたしました。</p>

<p>(参考2) <a href="https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2503/17/news167.html">https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2503/17/news167.html</a></p> <p>(3)について、そもその会場への交通網が貧弱であったという計画面、結局のところこういった事態にどう対応するのかシナリオが作れていたのかという計画面、そして最後までどうなるかどうすればよいのか分からなかったという訪問客が多くいたという計画含めた運用面、と多くの課題が抽出できるように思います。</p> <p>3. 現に参加された方々にはより多くの、より詳細な課題と知見が手元にあるものと拝察します。課題そのものから抽出した知見を報告書に残す、あるいはそのような知見を残し活かす姿勢を報告書において1つの事例として見せることは、万博そのものに新たな1つのレガシーを付け加えることになると考えます。</p>	
<p>3 「つながり」とは癒着の事か。</p> <p>入札を介さない業者指名、パレスチナ侵攻中のイスラエルの招待、子請け・孫請け業者への不払い、メタンガス爆発事故の隠蔽、膨大な赤字を税金で補填。こんなものが後世に残っても、恥でしかない。</p> <p>有りもしなかった成果をでっち上げるより、きちんと反省しろ。</p>	<p>大阪・関西万博では、多様な主体が連携した技術・社会実証や海外とのビジネスマッチングなどの経済面でのつながりに加え、来場者や運営管理者も個々に海外とのつながりを構築しました。また、都市間レベルでも新たな海外ネットワークを拡大しました。このような「つながり」をさらに発展させ、広げていくことが必要だと考えております。</p> <p>また、報告書(案)の「おわりに」では、「一連の課題についての検証は博覧会協会をはじめ、様々な主体において実施されているが、これらは後継組織にも引き継がれ、次期博覧会等への運営ノウハウの提供等の形で活かされていくべきもの」としております。なお、御指摘を踏まえ、大阪・関西万博に関する諸課題については、第4回2025年日本国際博覧会成果検証委員会で資料として公表いたしました。</p>

	<p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題については、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p>
<p>4 カジノ建設に反対する。 大阪でも和歌山でも 住民が反対しているのに、住民が居ない 無人島を作って 建設など、民意を無視した 詐欺ではないか。 維新の会は 何様なのか?</p>	<p>報告書（案）の内容とは直接関連するものではないため、回答は差し控えます。</p>
<p>5 「黒字」「剰余金の配当」などと言っているが、業者への不払い問題は どうなったのだ？ そもそもが、府で賄うと言っていた筈が 予算の膨張で 国の税金を注ぎ込む事になったのではないか。赤字も赤字の上、大屋根リングや 2 億円のトイレなど、国民を馬鹿にした様な浪費垂れ流し。 ふざけるなど言いたい。 公共工事入札法令、建築基準法、安全衛生法、労働基準法、あらゆる法を無視して強行した 出鱈目な無駄遣いを、「継承」など されてたまるか。</p>	<p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p>
<p>6 「外交面では、ナショナルデー・スペシャルデー等を通じ、数多くの王族・首脳級・閣僚等が来訪し、通常の国際会議とは異なる形での対話と交流が、各国との関係構築に大きく寄与した。」 と有るが、 市民は無視か。 大阪・日本政府の思想が滲み出ている。</p>	<p>御指摘の大阪・関西万博での市民活動についても報告書（案）において言及しております。</p>

7	<p>万博で使用した、腐った CLT 木材を送り返された、高知県民です。          収益 370 億円!? だったら 大阪で処分しろ!!          ゴミを押し付けて、何がレガシーだ。</p>	<p>大阪・関西万博で使用した CLT などのリユース品につきましても、「万博サーキュラーマーケットミヤク市！」の規約に同意し、再利用の意思がある方にお送りしております。</p>
8	<p><b>【要旨】</b>          負の遺産（ネガティブ・レガシー）についての章を追加してください。大阪・関西万博が何の問題もなくスムーズに成功したとは考えていません。様々な問題点を一つ一つ解決しながら最終的に成功に至った、というのが実情です。しかし、これらの問題点について何の記載もないことは、問題点から目を背けた自己満足の報告書と受け取られかねません。これらの問題点を振り返り、反省してこそ次があるのです。そのため、以下の問題点について、どのように解決したのかを章立てて記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 建設費・公費負担の増大</li> <li>- パビリオンの工事代金の未払い</li> <li>- 能登地域を犠牲にした成功</li> <li>- メタンガス爆発事故と将来の埋立地の安全性</li> <li>- 路線バスへの転用断念と大量放置</li> <li>- 教育動員の強制性と安全管理</li> </ul> <p><b>【建設費・公費負担の増大】</b>          会場建設費が当初の想定から大幅に上振れし、結果として国民および地元自治体への公費負担が増大した事実は、本万博における極めて重大な課題となりました。報告書案では経済波及効果が約 3.6 兆円に達したとされていますが、多額の公費投入が行われた妥当性については、より詳細かつ厳密な検証が不可欠です。</p> <p>予算増大が見込まれる状況にありながら、当初の予算案に合わせた過小な見積もりを提示し、後から増額を繰り返す手法が常態化している現状は、国民の税金を投じる事業の在り方として極めて不適切です。本来、初期段階から誠実かつ正確な見積もりを提示すべきであり、万一の増額に備えては、</p>	<p>報告書（案）の「おわりに」では、「一連の課題についての検証は博覧会協会をはじめ、様々な主体において実施されているが、これらは後継組織にも引き継がれ、次期博覧会等への運営ノウハウの提供等の形で活かされていくべきもの」としております。なお、御指摘を踏まえ、大阪・関西万博に関する諸課題については、第 4 回 2025 年日本国際博覧会成果検証委員会で資料として公表いたしました。</p> <p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題については、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p> <p>能登地震の復興への影響については、石川県と連携体制を構築して現地情勢のきめ細やかな把握や、関係省庁に寄せられた情報などの把握に努め、万博関連の工事・調達等によって能登復興に支障が生じることがないように取り組んでまいりました。なお、剰余金は万博に多くの方に来場い</p>

安易な公費の追加投入に依存するのではなく、民間保険等によるリスクヘッジの検討や、場合によっては「開催中止」という選択肢も含めた厳しい判断基準（デッドライン）を設定しておくべきでした。予算増額後に有識者による監視体制を強化した反省を踏まえ、物価変動リスクへの備えや透明性の高い情報開示プロセスを、教訓として明確に記録する必要があります。特に、現在の中東情勢のような国際的な不安定要素と重なった事態において、国民生活の安全やリソースを犠牲にしてまで建設を強行すべきなのかという優先順位の議論は、今後の国家プロジェクトにおける民主的な合意形成において、避けては通れない必須の視点です。

#### 【パビリオンの工事代金の未払い】

海外パビリオンの複雑な契約や工期逼迫により、建設業者への代金未払いトラブルが発生しました。報告書案では過去最多の 158 か国・地域が参加した実績が記されていますが、その裏側で現場の資金繰り悪化を防ぐために博覧会協会が調停スキームを設置した経緯なども記録されるべきです。将来的なプロジェクトにおいては、発注者の資金保証スキームの義務付けや、下請け業者を保護するための適正なルール確立が不可欠です。

また、報告書案には約 320 億円から 370 億円の黒字見込みと剰余金の配分について記載されており、博覧会協会の清算をもって配分するとされていますが、下請け業者への未払い工事代金が存在したままの黒字化や剰余金の配分は言語道断です。剰余金の配分を論じる前に、すべての未払い代金が完全に支払われ、清算が完了している事実を報告書に明記すべきです。

#### 【能登地域を犠牲にした成功】

令和 6 年能登半島地震の発災時、万博建設が被災地の復旧に必要な人員や資材を圧迫し、復旧に深刻な遅れが生じました。報告書案では、能登半島地震という困難の中にあっても国を挙げた取組により成功裏に開催し、日本の実行力を世界に示したと総括されていますが、実際には被災地の復旧リソースを万博が優先的に確保する形となり、その遅れは今もなお解消されていません。国家的なイベントと災害復興が重なった際のリソース配分ルールを事前に策定しておくことは、今後の国の危機管理において極めて重要です。また、報告書案では約 320 億円から 370 億円の黒字見込みとされる運営費剰余金について、つながり、創造活動、夢洲の整備の 3 つの柱に均等に配分する方針が示されていますが、能登地域のリソースを犠牲にする形で成立させた万博であるという事実を直視すべきです。この剰余金は現在の配分案の見直しを行い、優先的に被災地の復興支援に割り当てるべきです。

ただいたことなどで生じており、万博のレガシー展開に戦略的に活用する方針としました。

EV バスの問題については、関係機関において適切に対応されるものと承知しております。

公費を投じた事業の成果である剰余金の使途として、国民の命と暮らしに直結する復興を最優先に位置づけることは、報告書に盛り込むべき必須の視点です。今回は万博と能登復旧との競合になりましたが、現在の中東情勢のような国際的な不安定要素が続く場合、あらゆるリソースにおいて国民生活との競合は避けられません。国民生活を犠牲にした上でのイベントの成功などありえず、危急時における国民優先の姿勢を制度として担保すべきです。

#### 【メタンガス爆発事故と将来の埋立地の安全性】

建設中に発生したメタンガス爆発事故は、夢洲という廃棄物処分場跡地特有のリスクを浮き彫りにしました。報告書案では夢洲をレガシー継承の場として位置づけていますが、事故後の安全管理マニュアルの改定や換気システムの導入といった対応の実績こそが、将来の土地利用における安全確保の基盤となります。跡地利用に向けては、継続的な環境モニタリングデータの公開が求められます。

#### 【路線バスへの転用断念と大量放置】

次世代モビリティの実証として導入された中国製のEVバスが、安全基準の未達などにより、閉幕後に計画されていた路線バスへの転用を断念され、大量に放置される事態となりました。報告書案ではモビリティ分野において「実証データの解析や商用化への移行」が期待されると記述されていますが、実際には車両の不具合から補助金の返還要求にまで発展しており、そもそも万博という公の場で完成度の低い製品を実用化しようとした判断自体が問題です。万博においてEVバスのベンチャー企業を支援する意図があったのであれば、公金である補助金ではなく、報告書案で示されている剰余金の配分枠などを活用してサポートすべき事項でした。新技術の導入に際しては、転用計画が頓挫した場合の責任の所在や補助金返還のリスクを含め、最初から現実的なバックアッププランを契約に盛り込むことが必須の教訓となります。

#### 【教育動員の強制性と安全管理】

当初は、来場者数を確保するために児童生徒をボランティアとして参加させようとしていました。しかし、子どもの安全を軽視した姿勢は、辺野古での重大事故の教訓に照らしても、決して許容されるものではありません。文部科学省が児童生徒のボランティア参加について、学校が推奨や奨励を控えるよう指導したにもかかわらず、一部の教育現場では参加を検討するよう要請が出るなど、大きな混乱を招きました。報告書案では「子どもたちにとって貴重な学びの場になった」と肯定的な側面のみが強調されていますが、実際には教育動員の強制性や安全管理の不備という深刻な課題が残りました。

<p>た。教育動員を行う場合は、児童生徒の安全を最優先に考え、強制性を完全に排除した形でのボランティア体制を構築するための抜本的な対策を講じる必要があります。</p> <p>9 &gt; (2) 博覧会協会の活動等      剰余金を活用したレガシー展開の取組は、剰余金の配分後となる一方で、アフター万博の取組は、万博閉幕後から既に始まっている。本報告書に記載されたレガシー展開の取組も、既に動き出しているものがあり、これらの流れを途切れさせることなく、国、地元自治体、経済界、学術機関、その他関係機関は早期に取り組み進めていく必要がある。博覧会協会においても、その活動期間（2028年3月末まで）中に、万博の成果を広めるための取組を継続し、解散後の関係者の取組へつなげていくことが必要である。</p> <p>と、報告書（案）にあります。この部分も含めて、報告書（案）は全般的に主催者側（日本政府、大阪府市）からの目線でしか書かれていないように思います。</p> <p>ぜひとも参加していた国・地域へもなるべく早く（忘れられないうちに）アプローチし、彼らとしての大阪・関西万博についての総括（フィードバック・反省）を聞いていただき、彼ら目線のコメントも報告書に盛り込んでいただけませんか？また、大阪・関西万博のレガシーとして何をいつどんな形でやりたいかも彼らにも聞いていただきたいです。</p> <p>万博のために各国から来ていたスタッフと来場者の交流の絆は、放置していたら、どんどん忘れ去られてしまいます。こちらについては、来場した人たちに、接触できるのであれば、印象に残っていて、またみたいもの（展示物、イベントなど）を聞いていただけませんか？</p> <p>よろしく願いいたします。</p>	<p>各参加国へのヒアリングを実施し、相手国との関係で公表することが可能なものをまとめ、報告書（案）の別添1「大阪・関西万博の開催実績及び成果の整理（案）」の11ページに主なコメントを掲載しております。各参加国へのヒアリング内容については、今後の国際博覧会の運営に活用していきます。</p>
<p>10 万博で運用されていたはずの電子マネー「ミyakape」の処理について、一切言及されていないが、どういうことか？</p> <p>まさか、運用時と違うレートにして、税金で買い取るなどという事はするまいな？</p> <p>監視しているぞ。</p>	<p>ミyakapeについては令和8年1月13日にサービスを終了しており、チャージされた残高は、事前に申し込みがあったものについては、等価のVポイント Pay ギフトの送付、そのほかは慈善団体等に寄付されたものと承知しており、御指摘のような税金での買い取りはいたしません。</p>

<p>11 報告書（案）は  開催実績・成果・レガシー継承を整理する重要な文書であるにもかかわらず  成功面のみを強調し  重大な負の側面や課題をほぼ完全に無視している点に強い懸念を表明します  「正しい全体評価」とは程遠い内容であり  以下の点を踏まえた大幅な修正を求めます  未払い問題の完全無視  海外パビリオン建設で10億円超の下請け未払い（11カ国以上、30社超）が発生し  破産事例や訴訟も生じました  解体工事にも影響が出ています  この重大な社会問題を一切記載せず「成功裏に開催」とするのは  被害者救済や再発防止の観点からも不適切です  別添等で実態と対応策を明記すべきです  EVバス等モビリティ実証の失敗  「次世代移動手段の実証」と称していますが  大阪メトロが導入した中国製EVバス190台はブレーキ不具合・事故が相次ぎ  使用中止・路線転用断念となりました  現在は「バスの墓場」状態で野ざらしとなり  多額の税金（補助金含む）が無駄になっています  この失敗事例と原因分析・教訓を明確に記載し  「知見の蓄積」と美化する記述を修正してください  来場者数の不適切な見せ方  関係者を含む総来場者数2,902万人を強調していますが  事前目標2,820万人は一般来場者ベースでした  一般来場者は約2,558万人と目標未達です  水増し的な印象操作を避け一般来場者数と総数の両方を明確に区別して記載すべきです  夢洲の現実的課題（悪臭・地盤等）の無視</p>	<p>報告書（案）の「おわりに」では、「一連の課題についての検証は博覧会協会をはじめ、様々な主体において実施されているが、これらは後継組織にも引き継がれ、次期博覧会等への運営ノウハウの提供等の形で活かされていくべきもの」としております。なお、御指摘を踏まえ、大阪・関西万博に関する諸課題については、第4回2025年日本国際博覧会成果検証委員会で資料として公表いたしました。</p> <p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題については、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p> <p>EVバスの問題については、関係機関において適切に対応されるものと承知しております。</p> <p>来場者数については、博覧会協会において、BIE（博覧会国際事務局）との議論も踏まえ、直近のドバイ万博の例に倣い、チケットによる入場者に加え、関係者向け入場証（AD証）による入場者、いわゆる関係者の数を足しあわせた数を来場者として公表したものと承知しており、不適切ではないと考えております。</p>
---	---

<p>会場である夢洲は長年のゴミ処分場由来の悪臭（メタンガス等）やユスリカ大量発生の問題を抱え来場者体験に悪影響を及ぼしました</p> <p>こうした環境負荷を「場の記憶」継承の中で正しく検証・記載しなければレガシー議論の信頼性が損なわれます</p> <p>全体のバランスと透明性</p> <p>報告書が経済界・自治体・国による「成功総括」に偏重し</p> <p>税金負担の費用対効果</p> <p>技術実証の限界</p> <p>IRとの関連性への疑問を排除している印象が強いです</p> <p>レガシー展開の基本方針を議論する上で</p> <p>負の遺産・失敗からの学びも含めたバランスの取れた評価が不可欠です</p> <p>提言</p> <p>負の側面（未払い、EVバス失敗、悪臭・環境問題等）を別添または本文に明記し</p> <p>反省と再発防止策を記載すること</p> <p>剰余金の使途やレガシー事業の実施体制について</p> <p>第三者検証と透明性確保の仕組みを強化すること</p> <p>以上を踏まえ</p> <p>報告書（案）の大幅修正を求めます</p>	
<p>12</p> <p>1) 代金踏み倒しについて「2025年日本国際博覧会 成果検証委員会」で成果を検証し、レガシーとして次世代に継承していくための取組について議論をしている中に、建設・内装等にかかわった企業への海外発注企業による代金踏み倒しは話し合われているのでしょうか？</p> <p>剰余金が370億円あるなら、まずは、代金を踏み倒された中小零細企業に立て替え払いをして、踏み倒した海外企業から回収してください。それが大企業が逃げてしまったので、中小零細企業にお願いした、大阪の責任であり、税金を使っている以上国の責任であり、エビで鯛を釣る協賛企業の責任です。</p>	<p>1) について、大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p>

<p>代金踏み倒しのフランス企業にアジア大会の仕事も任せているようですが、万博代金踏み倒しを解決しないと、そのフランス企業を使うのは政治家や役人と利権の関係があるんじゃないかと「あらぬ疑い」をかけられますので速やかに代金踏み倒しを解決してください。</p> <p>2) 税金および協賛金で集めた資金と使途の全面開示 税金を使う以上、使い道をすべて開示することを求めます。 政府は必ず「民間にかかわることなので」と開示を拒みますが、ならば、国税、地方税を使わず、すべて民間企業の資金で万博、オリンピックをやるべきです。 税金を出してくれと言われたら、税金および民間資金すべての使い道を開示する条件にすればいいのです。後ろめたい使い道をしていなければ問題ないはずです。</p>	<p>2) について、博覧会協会により、会場建設費及び会場運営費の執行状況が公表されているものと承知しております。</p>
<p>13 万博は下請けの未払い賃金などの清算に予算を使ったらどうですか？</p>	<p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p>
<p>14 現在、我が国では、物価高騰、実質賃金の伸び悩み、社会保険料負担、少子化、子育て費用、教育費、医療・介護、障害福祉、防災・減災、インフラ老朽化、地方の衰退など、国民生活に直結する課題が山積しています。</p> <p>そのような中で、万博の記念施設、イベント、観光促進、夢洲のレガシー整備等に多額の資金を投じることについては、国民の理解を得られるだけの明確な公益性、費用対効果、将来負担の説明が不可欠です。</p> <p>以下の点について、再検討又は明確化を求めます。</p> <p>1. 剰余金や関連する公的資金を万博関係事業へ自動的に再投資すべきではない 本報告書案では、万博の剰余金をレガシー事業に活用する方針が示されています。</p>	<p>1. について、剰余金は万博に多くの方に来場いただいたことなどで生じており、万博のレガシー展開に戦略的に活用する方針としました。</p> <p>2. について、夢洲では、国際観光拠点の形成をめざし、第1期区域では IR を中心としたまちづくり、第2期区域では万博の理念を継承したまちづくりを進めることとし、万博レガシー継承の観点からは第2期区域のみならず、その周辺も含めた一体的なまちづくりが進められることと承知</p>

<p>しかし、万博は公的関与の大きい事業であり、仮に運営費上の剰余金が生じたとしても、それを当然に万博関連事業へ再投資することが妥当とは限りません。</p> <p>公的性格を有する資金である以上、まず検討すべきは、国民生活上の緊急性が高い課題への活用です。具体的には、物価高に苦しむ国民への支援、少子化対策、子育て世帯への支援、教育、医療、介護、障害福祉、防災・減災、地方の生活基盤整備などと比較した上で、最も公益性の高い用途を選ぶべきです。</p> <p>万博関係者や夢洲開発のために自動的に使われるのではなく、国民全体への還元という観点から、用途を再検討すべきです。</p> <p>2. 万博レガシー事業と IR・カジノ整備との関係を明確に説明すべき</p> <p>夢洲では、カジノを含む IR 整備が進められています。</p> <p>万博レガシー事業が、夢洲における IR・カジノを含む国際観光拠点形成と事実上一体となって進められるのであれば、その関係性を明確に説明すべきです。</p> <p>万博の理念継承や記念施設整備が、結果として IR・カジノ周辺開発を公的に後押しする形になることには、慎重な検証が必要です。</p> <p>特に、以下を明確にすべきです。</p> <p>万博レガシー事業と IR・カジノ整備との関係</p> <p>夢洲の公共インフラ整備費との関係</p> <p>将来の維持管理費の負担者</p> <p>観光振興による利益を受ける主体</p> <p>ギャンブル依存症対策の費用と責任主体</p> <p>治安、青少年、地域住民への影響</p> <p>交通混雑や行政コストの増加見込み</p> <p>万博の理念を掲げながら、実質的にカジノを含む夢洲開発の周辺整備に公的資金を投入する形になるのであれば、国民の理解を得ることは困難です。</p> <p>3. カジノを含む観光振興より、少子化対策・国民生活支援を優先すべき</p> <p>現在、多くの国民は、物価高騰、住宅費、教育費、社会保険料、医療・介護負担に苦しんでいます。若い世代が結婚、出産、子育てを安心して選択できない状況は、国家的危機です。</p>	<p>しています。なお、ご指摘の万博の跡地となる区域は主に第2期区域であり、IR 事業を行う第1期区域は含まれていないものと承知しています。また、万博で生まれた剰余金を IR 事業そのものに活用することはありません。</p> <p>3. について、万博で生まれた剰余金は万博レガシーを展開するために活用されるべきと考えております。</p> <p>4. について、大屋根リングの一部保存に係る整備・維持費等（概算）は、大阪府・大阪市において公表されております。EXP02025 記念館（仮称）の整備・維持費用等は、大阪府・大阪市において検討されるものと承知しております。</p>
---	--

<p>このような状況で、カジノを含む IR 周辺の観光振興、記念施設、象徴的なレガシー事業に公的性格を有する資金を投入することは、政策の優先順位として疑問があります。</p> <p>少子化対策、子育て支援、教育費負担の軽減、若年層の所得向上、住宅支援、保育・医療・福祉の充実こそ、将来世代への本当の投資です。</p> <p>万博レガシーに資金を使うのであれば、それが国民生活の安定や将来世代の利益にどう結び付くのか、具体的に説明すべきです。</p> <p>4. 夢洲の記念施設・大屋根リング保存は将来負担を明示すべき</p> <p>本報告書案では、夢洲における記念施設、大屋根リングの一部保存、記念公園ゾーン等がレガシーとして示されています。</p> <p>しかし、記念施設や象徴的構造物を残す場合、初期整備費だけでなく、長期の維持管理費、修繕費、人件費、警備費、更新費、集客が低迷した場合の赤字補填が発生します。</p> <p>一時的な剰余金で整備した施設が、将来的に自治体や国民の負担となることがあってはなりません。</p> <p>少なくとも、以下を公表すべきです。</p> <p>初期整備費 年間維持管理費 修繕・更新費 想定来場者数 収支見通し 赤字時の負担者 事業終了時の撤去費 国、府、市、民間の負担割合</p> <p>記念性や象徴性だけで、公的資金を投入すべきではありません。</p>	
<p>15 5. 剰余金の使途、契約先、再委託先、成果を全面的に公開すべき</p> <p>本報告書案では、透明性をもって公開・検証する必要性が示されていますが、具体的な制度設計が不十分です。</p> <p>剰余金を使う事業については、以下を年度ごとに公表すべきです。</p>	<p>5. について、本報告書では剰余金の配分方針を示しており、具体的な活用方法や、使途の公開、検証については、今後議論されていくものと承知しております。</p>

<p>事業名</p> <p>支出額</p> <p>採択理由</p> <p>契約先</p> <p>再委託先</p> <p>選定方法</p> <p>利益相反の有無</p> <p>成果指標</p> <p>達成状況</p> <p>監査結果</p> <p>事業終了後の評価</p> <p>未達成時の見直し方針</p> <p>特定の団体、企業、関係者に資金が流れるだけの事業にならないよう、第三者監査と国民への情報公開を義務付けるべきです。</p> <p>6. 万博の成功面だけでなく、課題や失敗も第三者検証すべき</p> <p>本報告書案は、万博の成果や理念継承を前向きに整理しています。</p> <p>しかし、今後に本当に生かすべきレガシーには、成功だけでなく、課題や失敗の検証も含まれるべきです。</p> <p>来場者対応、混雑、予約システム、暑熱対策、日陰不足、動線不良、入退場、バリアフリー、災害時避難、人工島アクセスの脆弱性などは、今後の大型イベントや都市開発にとって重要な教訓です。</p> <p>これらを曖昧にしたまま、「成功した万博」として理念継承だけを進めるべきではありません。</p> <p>独立した第三者による検証を行い、以下を公表すべきです。</p> <p>当初計画と実績の比較</p> <p>混雑・予約・動線の問題</p> <p>暑熱対策の評価</p> <p>災害・事故・救急対応</p> <p>バリアフリー対応</p>	<p>6. について、報告書（案）の「おわりに」では、「一連の課題についての検証は博覧会協会をはじめ、様々な主体において実施されているが、これらは後継組織にも引き継がれ、次期博覧会等への運営ノウハウの提供等の形で活かされていくべきもの」としております。なお、御指摘を踏まえ、大阪・関西万博に関する諸課題については、第4回 2025 年日本国際博覧会成果検証委員会で資料として公表いたしました。</p> <p>海外来場者が想定を下回った要因については、博覧会協会が「海外の方はレポートが容易ではないことや、来場者による SNS などを通じた情報発信が日本人の情報コミュニティと比較して少なかったこと等が要因として考えられる」といった発言をしていることを承知しております。</p> <p>7. について、剰余金は、万博に多くの方に来場いただいたことなどで生じたものであることを踏まえ、その用途については、透明性をもって公開され、検証される必要があることを報告書（案）に明記しております。</p>
--	---

<p>海外来場者数が想定を下回った理由  国費・自治体負担を含む総合的な費用対効果  次の大型事業への改善提言  成功面だけでなく、反省点を残すことも重要なレガシーです。</p> <p>7. 剰余金の配分は均等配分ではなく、公益性・緊急性・費用対効果で判断すべき  本報告書案では、レガシー展開を複数の柱に整理し、剰余金を配分する考え方が示されています。  しかし、柱ごとの均等配分や、地域・分野ごとの形式的な配分が、最も合理的であるとは限りません。  本来、剰余金の使途は、以下の観点から厳格に審査すべきです。</p> <p>国民全体への公益性  費用対効果  将来負担  緊急性  全国的公平性  民間が負担すべき事業ではないか  一部事業者・団体への利益供与にならないか  支出後に検証可能か</p> <p>「万博のレガシーだから使う」のではなく、「国民全体にとって本当に必要だから使う」という説明が必要です。</p>	
<p>16 9. IR・カジノとの関係がある場合、ギャンブル依存症・治安・青少年への影響を十分に検証すべき  カジノを含むIRと夢洲のレガシー事業が近接又は関連するのであれば、ギャンブル依存症、青少年への影響、治安、周辺環境、交通混雑、地域住民への影響を十分に検証すべきです。  観光収益や経済効果だけを強調するのではなく、負の影響とその対策費用も含めた総合評価が必要です。  特に、以下を明確にすべきです。  ギャンブル依存症対策の具体策  相談・治療体制の整備費用</p>	<p>9. 及び10. について、大阪・関西万博のレガシー展開は、万博の成果を一過性のものとせず、レガシーとして後世に引き継ぐために、(1)万博で創られた「つながり」の拡大・発展、(2)万博を契機とした創造活動の深化・展開、(3)夢洲の「場の記憶」の継承・展開、の3つの取組の柱で進めることとしております。なお、万博レガシー事業に関するご意見以外については、関係機関にお伝え</p>

<p>青少年への影響防止策  治安対策・警備費用  交通混雑・騒音・生活環境への影響  地域住民への説明と意見聴取  影響が生じた場合の責任主体</p> <p>レガシー事業が、カジノを含む開発のイメージ改善や周辺整備に使われることがないよう、明確な線引きが必要です。</p> <p>10. 外国人観光客・外国人材の増加を前提とする場合、社会的コストを検証すべき</p> <p>万博レガシーや IR を含む観光拠点化では、外国人観光客や外国人材の増加が期待されていると考えられます。</p> <p>国際交流そのものを否定するものではありません。</p> <p>しかし、外国人観光客・外国人居住者・外国人労働者の増加に伴い、医療、教育、住宅、交通、治安、地域コミュニティ、行政サービス、多言語対応など、受入れ側の社会的コストが増加することも事実です。</p> <p>外国人を一律に排除する趣旨ではありませんが、国民生活や地域インフラに負担が生じている現実を踏まえ、受入れ規模や制度運用については、国民の安心、安全、社会的統合を前提に慎重に検証すべきです。</p> <p>万博レガシー事業が、外国人観光客や外需依存型の地域開発を前提とするのであれば、その社会的コスト、行政負担、住民生活への影響を明確に示す必要があります。</p> <p>11. 博覧会協会解散後の責任主体を明確にすべき</p> <p>博覧会協会の活動終了後、レガシー事業、知的財産、記録データ、キャラクター利用、記念施設、剰余金事業の成果管理を誰が担うのが重要です。</p> <p>「後継団体に引き継ぐ」というだけでは不十分です。後継団体について、以下を明確にすべきです。</p> <p>法的性格  監督者  会計公開  監査体制</p>	<p>させていただきます。</p> <p>11. について、博覧会協会解散後の責任主体等については、関係機関と連携のうえ、引き続き検討を進めて参ります。</p>
--	--

<p>役員構成 利益相反管理 事業終了時の資産処理 個人情報・データ管理 国民への説明責任 公的性格を有する資金を扱う以上、責任主体と監査の仕組みを曖昧にすべきではありません。</p>	
<p>17 大阪・関西万博の成果を取りまとめた報告書（案）について、意見を申し述べさせていただきます。私自身、大阪・関西万博会場に複数回入場し、幾つかのパビリオンを見学することができました。また、大屋根リングを周回する中で、時間の経過とともに熱気と関心が高まっていく様子を肌で感じました。報告書にも記載されている通り、今回の万博は大きな成功を収めたものと考えます。他方で、課題もあったかと思えます。最も大きな課題の一つは、チケット購入及び事前予約の方法です。会期中から会場外にサポートデスクを設置したり、紙チケットによる入場を認めたりするなど改善が図られましたが、その案内は必ずしも十分ではなかったと感じます。日常的にパソコンやスマートフォン等に慣れ親しんでいない方にとって、画面上で大部のマニュアルを読み、その指示に従って自力でチケットを購入することは、かなりハードルが高いものであったと思われま。また、スマートフォンによる購入・入場が前提であるかのような案内に接し、万博に行きたくても諦めた方も少なからずおられたものと思えます。こうした点は課題ではありましたが、決して単なるマイナス面にとどまるものではなく、いわゆるデジタル格差を浮き彫りにしたという意味で、今後どのように改善へ取り組むべきかについて示唆を与えるものであったと考えます。この点に触れることは、成果報告書（案）の方向性とも矛盾しないのではないかと考えます。以上、ご一考いただけますようよろしくお願い申し上げます。</p>	<p>報告書（案）の「おわりに」では、「一連の課題についての検証は博覧会協会をはじめ、様々な主体において実施されているが、これらは後継組織にも引き継がれ、次期博覧会等への運営ノウハウの提供等の形で活かされていくべきもの」としております。なお、御指摘を踏まえ、大阪・関西万博に関する諸課題については、第4回 2025 年日本国際博覧会成果検証委員会で資料として公表いたしました。</p>
<p>18 本報告書案は、大阪・関西万博の理念を継承し、剰余金を活用してレガシー展開を図る方向性を示すものとして重要である。一方で、「成果検証委員会」による報告書であり、かつ剰余金の配分・活用方針を含むものである以上、成果だけでなく課題の検証、配分の合理的根拠、事業実施体制、透明性・</p>	<p>第一については、報告書（案）の「おわりに」では、「一連の課題についての検証は博覧会協会をはじめ、様々な主体において実施されているが、</p>

説明責任の確保について、より具体的に記載すべきである。

第一に、成果検証として、開催準備・運営上の課題、原因、対応、今後の教訓を明記すべきである。報告書案では、「高い来場者満足度」「成功裏に万博を開催」「日本の総合的な実行力を世界に示す」等の肯定的評価が中心であり、開催準備や運営に係る課題は抽象的に触れられるにとどまる。大規模国際イベントの運営ノウハウを後世に継承する観点から、費用管理、建設・準備工程、交通輸送、混雑対策、予約・チケットシステム、安全対策、災害・暑熱対策、海外参加国対応、アクセシビリティ、撤去・廃棄物処理等について、課題と改善点を整理し、検証主体、検証時期、公表方法を明記すべきである。

第二に、剰余金配分の合理的根拠を明記すべきである。報告書案では、3つの取組の柱に剰余金を均等配分するとともに、大阪・関西ワイドとグローバル・ナショナルワイドにも均等配分するとされているが、なぜ均等配分が適当なのかについて、政策効果、事業需要、受益範囲、公益性、全国性・国際性等に基づく説明が十分でない。また、各柱ごとの最終的な配分割合も分かりにくい。最終的にどの柱に何%、大阪・関西ワイドに何%、グローバル・ナショナルワイドに何%が配分されるのかを示し、配分割合の算定根拠及び見直し手続を明記すべきである。

第三に、剰余金活用事業の選定基準、KPI、事後評価方法を明記すべきである。報告書案では、剰余金の使途について透明性をもって公開・検証する必要があるとされているが、具体的な制度設計が示されていない。事業の公募・選定方法、採択基準、審査主体、審査過程の公開方法、利益相反の管理方法、各事業のKPI、支出額・実施内容・成果の公表方法、中間評価・事後評価の時期及び方法、効果不十分な事業の見直し・中止基準、未執行額・不用額の取扱いを明記すべきである。

第四に、責任分担を明確化すべきである。報告書案では、グローバル・ナショナルワイドの取組は経済産業省の政策的関与の下、JETRO等と連携し、基金設置や信託制度を活用して使途・実施体制を検討するとされ、大阪・関西ワイドの取組は未来創造会議で検討するとされている。しかし、経済産業省、博覧会協会、地元自治体、経済界、未来創造会議、JETRO、後継団体の権限・責任が明確でない。特に、博覧会協会の活動終了後に、運営記録データ、ノウハウ、知的財産をどの後継団体に、どの基準で、どの責任体制の下で引き継ぐのかを明記すべきである。

第五に、技術・システム実証の成果について、社会実装に向けたロードマップを示すべきである。報告書案では、多言語翻訳、次世代通信、デジタルツイン、空飛ぶクルマ、自動運転、CO2排出削減、

これらは後継組織にも引き継がれ、次期博覧会等への運営ノウハウの提供等の形で活かされていくべきもの」としております。なお、御指摘を踏まえ、大阪・関西万博に関する諸課題については、第4回2025年日本国際博覧会成果検証委員会で資料として公表いたしました。

参加国の対応については、課題もありましたが、総じて日本の対応は良かったとの評価をいただいております。各参加国からの主なコメントについては、報告書(案)の別添1「大阪・関西万博の開催実績及び成果の整理(案)」の11ページに記載しております。

第二、第三、第四、第五、第六については、今後具体的な取組について、関係機関と連携して検討を進めてまいります。

<p>資源循環、PHR 活用等が挙げられているが、何が検証され、どのようなデータ・知見が得られ、どの制度的・技術的課題が明らかになり、今後どの主体が社会実装を進めるのかが不明である。主要実証ごとに、実施主体、目的、成果、課題、所管府省・関係機関、今後の工程、データ保存・公開・二次利用方針を整理すべきである。</p> <p>第六に、最終剰余金額と控除費用の内訳を明示すべきである。報告書案では、運営費収支について「最大約 370 億円の黒字」との記載がある一方、「約 320 億円から 370 億円の黒字見込み」ともされている。また、博覧会協会の活動等に要する費用を除いた額を最終的な剰余金として配分するとされているが、控除費用の内訳、控除後の配分対象額、各主体への配分見込額が明らかでない。剰余金の使途を議論する前提として、これらを明示すべきである。</p> <p>以上を踏まえ、本報告書案については、理念的・抽象的な記述にとどめず、剰余金という公共性の高い資金の活用について、国民に対する説明責任を果たせる内容に修正すべきである。上記各事項を報告書本文に反映しない場合であっても、なぜ反映しないのか、どの主体が、いつ、どの文書・手続で具体化するのかを明確に回答されたい。</p>	
<p>19 最初に、大阪・関西万博 2025 の関係者の皆様のご尽力に感謝いたします。各国パビリオンの外観・館内ディスプレイや、販売されていたグッズ・飲食物なども楽しめました。ありがとうございました。</p> <p>本当に行って良かった、と思うのですが、会場への入場予約、パビリオンの予約の手続きのあり方に関しては大きな課題を感じました。特に、パビリオン入場手続きがオンラインシステムを前提として設計されていたにもかかわらず、その操作は極めて煩雑であり、加えてマニュアルも複雑かつ分量が多く、私のようなシニア層にとって容易に理解・操作できるものではありませんでした。</p> <p>実際、私自身も自力での手続きを断念せざるを得ず、長女の支援を受けてようやく登録を完了いたしました。長女が操作したパビリオン予約の際にも、サイトに繋がらない、繋がっても△表示になっているパビリオンの予約を進めていくと、「ご用意できませんでした」のエラーが出て予約できず、元のページの戻ってみるとやっぱり△表示のままになっているなど、スマホ操作に手慣れた長女でもひとつ予約するだけでも相当な時間を要していました。</p>	<p>報告書（案）の「おわりに」では、「一連の課題についての検証は博覧会協会をはじめ、様々な主体において実施されているが、これらは後継組織にも引き継がれ、次期博覧会等への運営ノウハウの提供等の形で活かされていくべきもの」としております。なお、御指摘を踏まえ、大阪・関西万博に関する諸課題については、第 4 回 2025 年日本国際博覧会成果検証委員会で資料として公表いたしました。</p>

<p>私の場合は幸い長女の助けを得ることができましたが、そのような支援を受けることが難しい方々にとっては、万博への参加意欲、各パビリオンへの入館希望があっても、オンライン登録の難しさそのものが来場断念・入館断念の要因となった可能性が少なからずあったのではないかと懸念しております。</p> <p>しかしながら、今回の成果検証委員会「報告書（案）」においては、パビリオンの予約枠の不足や待ち時間の長さに関する言及はあるものの、このオンライン手続きの複雑さや、デジタル機器・オンライン操作に不慣れなシニア層への配慮不足が、問題点として十分に言及されておりません。</p> <p>大阪・関西万博 2025 は、「いのち輝く未来社会のデザイン」を掲げる国家的事業である以上、特定の世代やデジタル技能を有する人々だけが円滑に参加できる仕組みであってはならないと考えます。</p> <p>今後に向けては、シニア層を含む誰もが容易に利用できる、簡素で分かりやすい申込・予約システムの構築等を重要な課題として明記していただく必要があると考えます。</p>	
<p>20 報告書「2-4. その他、博覧会協会の活動、剰余金の清算について（1）剰余金の清算」に記載のとおり、「博覧会協会の活動等に要する費用を除いた額」を最終的な剰余金として、各主体へ配分することを原則とする、とされています。</p> <p>本報告書に「博覧会協会の活動等に要する費用を除いた額」に関する予算金額や現在予定している具体的な「イベント」などを明記する、もしくは別資料で説明するなどにより、できる限り透明性を確保することが必要ではないでしょうか。</p> <p>以上</p>	<p>報告書（案）に記載のとおり、周年事業や記念事業をはじめとするアフター万博イベントを想定しておりますが、具体的な活動は今後検討されていくものであり、現時点で予算額やイベントを記載することは困難です。なお、剰余金については、万博に多くの方に来場いただいたことなどで生じたものであることを踏まえ、その用途については、透明性をもって公開され、検証される必要があると考えております。</p>
<p>21 芸能人がライブをすることは問題ないのですが、日本の文化を世界に発信する場で韓国資本のグループを出すなど、日本文化以外のものが目立ちました。国家が行うイベントではそのような事務所の繋がりも考慮し組織運営を図っていただきたいです。</p>	<p>大阪・関西万博は、日本文化を発信するだけでなく、世界の多様な文化、価値観が交流しあい、新たなつながり、創造が促進されていく機会であったと考えております。</p>

22	<p>建設費の未払い問題、大量のEVバスの管理問題など、ニュース報道されているものすべて余剰金でまかなうのをまずは最優先してほしいです。経済産業省商務サービスグループ博覧会推進室が責任もって取り組んでください。大阪維新の会は誰ひとり信用できませんので、よろしくおねがいします。</p>	<p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p> <p>また、EVバスの問題については、関係機関において適切に対応されるものと承知しております。</p> <p>剰余金については、万博に多くの方に来場いただいたことなどで生じており、万博のレガシー展開に戦略的に活用する方針としております。</p>
23	<p>本報告書案について意見する。万博開催そのものが巨額の国民負担とずさんな計画管理で国民の批判を浴びたにもかかわらず、その終了後に「理念継承」や「レガシーの発展」を掲げ、さらなる税金投入や利権の継続を図る姿勢は、到底納得できない。</p> <p>庶民の暮らしが物価高と低賃金で疲弊している中、行政が優先すべきは、華やかなイベントの残滓を維持することではなく、国民生活の基盤を底上げすることである。これ以上の公的資金の投入や、特定の企業・団体が利益を得るための「レガシー（遺産）」の維持は断固として反対する。万博のレガシーとは、国民の犠牲の上に成り立つものではなく、失敗を教訓として二度と同じ無駄を繰り返さないという「行政の自浄作用」そのものであるべきだ。理念の継承という耳障りの良い言葉で、不透明な利権構造を温存させるな。国民の生活実感と乖離した計画には一切賛同しない。</p>	<p>剰余金については、万博に多くの方に来場いただいたことなどで生じており、万博のレガシー展開に戦略的に活用する方針としております。</p>
24	<p>万博のレガシー展開とやらのために剰余金（黒字分）を使う余力があるのなら、その剰余分を使って万博工賃未払い問題を解決して頂きたい。</p> <p><a href="https://www.jcp.or.jp/akahata/aik26/2026-05-30/2026053013_01_0.php">https://www.jcp.or.jp/akahata/aik26/2026-05-30/2026053013_01_0.php</a></p>	<p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、</p>

<p>経産省におかれては、万博が残した負のレガシーである未払い問題の解決こそが喫緊の使命であると心得て頂きたい。</p>	<p>引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p>
<p>25 黒字が 300 億円以上との事でしたが、それならばなぜ下請を含めた関係業者への未払いが続いているのでしょうか？</p> <p>関西万博を会期中楽しく過ごしただけに、その裏で会場の建築や運営に携わって下さっていた多くの業者さん、そのご家族、関係者の方々が泣き寝入りするような状態が続いている事は非常に悲しいです。</p> <p>理念継承とレガシーの発展に向けてと言うのであれば、万博を作ってくれた多くの下請業者さん達に1日も早く支払いをするべきです。</p> <p>彼らの技術や協力なしではあの大屋根リングも会場設備も成り立たなかったと思います。人がいて、技術が継承されるからこそ、万博のような素晴らしい体験や文化が後の世に伝えられていく事業が達成できたのだと考えています。</p> <p>あの素晴らしい万博を作ってくれた業者さん、そこに関係した人達の培ってきた技術力こそがこれから先も受け継がれていくべきレガシーだと思います。</p> <p>府民として万博を作ってくれたあらゆる下請業者さんこそ大事にされて欲しいです。黒字化で得られた利益を、未払いになっている工事費等の支払いに充当して下さい。</p>	<p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p>
<p>26 2-2. 剰余金の配分・事業実施体制について意見があります。万博に関わった工事業者が未だに未払い問題に直面している状況です。未払いの国へ返済するよう強く求めることが必要です。剰余金があるならば、一時的に大阪・関西万博側が工事業者への未払い分を肩代わりするべきだと考えます。工事業者の存在は国民が生きていく上で欠かせない存在です。各国の未払い問題が発生したのは、大阪・関西万博側の責任でもあります。そのため、大阪・関西万博側は剰余金を万博の開催に携わった工事業者に対して未払い分を肩代わりするために使うべきです。</p>	<p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p>

<p>27 剰余金はまず未払いが報じられている業者の方々を救済するべく使うべきではないでしょうか。またバスの件もありますし。働く方々や地域に負の遺産を残すべきではありません。</p>	<p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p> <p>なお、EVバスの問題については、関係機関において適切に対応されるものと承知しております。</p>
<p>28 黒字になっているならばまずは未払い状態の業者の救済措置が先ではありませんか？ レガシーだのなんだのはそれが済んでからではないですか？ それが終わらないと先には進めないと思います。 せめてお金を支払ってない業者への指導が最優先でしょう。 ちなみにカジノの前座なので万博自体嫌いです。 負の遺産過ぎるので本音は「こんなものを偉業と思わないでほしい」です。</p>	<p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p>
<p>29 資料の中に「いのち」という言葉が沢山でてきましたが 成果の整理 新たな価値観へのアプローチ(資料 30p)文化、人らしく生きる… さらに「AI 時代」などと言いますが今、広義で言われている AI に環境面でも人権面でも未来など無い事にか気がついていただきたいです。 他国を含め生成 AI に尊厳を奪われている現状を把握してください 又、「博覧会の運営費収支は、約 320 億円から 370 億円の黒字」とありますが海外館・工事費未払いを優先して支払ってください この問題解決なくして今後の繋がり の利活用などあり得ないと思います</p>	<p>大阪・関西万博は、「未来社会の実験場」として、AI を含め、最先端技術や新たな社会システムの実証を多分野にわたり実施しました。なお、御指摘の「生成 AI に尊厳を奪われている現状」については、報告書(案)の内容とは直接関連するものではないため、回答は差し控えます。</p> <p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会とし</p>

		ては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。
30	未払いがあるのに余剰金ってなんですか？ 万博をやった人たちは日本の恥ですね。	大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。
31	大阪・関西万博の開催には、数多の建設事業者の甚大な協力が不可欠でした。にもかかわらず、適切な報酬が支払われない未払いの問題が発生し、今に至るまで解決していません。 当該万博の黒字や経済波及効果を「成果」とするならば、その諸効果をもたらした（にもかかわらず報われていない）負の「成果」についても、二度と繰り返さないためのレガシーとして次世代に継承していただきたいと思います。そのための取り組みを切に希望します。 そして何より、レガシーの継承などにお金を使う前に、未払いの解決に費用を投じていただきたいと思います。当該万博に労力を投じ開催に協力した方々のいのちを大切にしてください。	大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。
32	レガシーとかいう前に、この万博に力を尽くした企業にちゃんとお金払ってから行ってください。 不払い問題放置でレガシーとか意味が分からない。	大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の

		契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。
33	剰余金があるのであれば、まずは無理なスケジュールの工事を請け負ってくださった業者への支払いを最優先にすべきです。万博に貢献した人たちの人権を踏みにじったままでは、レガシーも何もありません。	大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。
34	最終的に運営費が黒字になるとの事ですが、工事業者への支払いを含めた結果なののでしょうか？未だに工事業者への未払い問題が解決しないと報道がまだあるのに本当に黒字なのか疑問に思います。未払い分を含めた決算数字を国民に見せた上で、大阪・関西万博 理念継承とレガシーの発展に向けて（報告書）（案）を提出をすべきです。	大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。
35	レガシーだなんだ言うよりも、まず先に工事費未払い問題を解決させなさい。 万博が開催できたのは、工事に携わった人々のおかげだろう。まるで自分たちの手柄のような総括をするな。	大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。

36	<p>万博は失敗だ。 レガシーコストが大きすぎる。 万博工事費未払いを即刻解決しろ。 バスも危険性を指摘されている。 全てを説明しないまま、さらなる費用をかけようなどと 恥ずかしげもなく企画できることが信じられない。</p>	<p>大阪・関西万博の海外パビリオンの支払いの問題について、一義的には契約の当事者間における問題と考えておりますが、政府及び博覧会協会としては、全く関与しないとの立場はとっておらず、引き続き、関係行政機関とも連携しつつ、個別の契約の問題解決に向け後押しを行ってまいります。</p> <p>なお、EVバスの問題については、関係機関において適切に対応されるものと承知しております。</p>
37	<p>2025 年開催の大阪万博の影響が負の遺産となる要素について、議論が尽くされていないのではないかと。「いのち輝く」と冠しながらパレスチナへの虐殺を現在進行形で行うイスラエルを呼んだことや、建設に関わった方々への未払いについてなど。</p> <p>次の万博開催を見据えてレガシーとするならば、これら負の影響も無視せずしっかりと向き合ってほしい。人々は忘れていないし、遺産などともてはやすほど忘れないだろう。</p>	<p>報告書（案）の「おわりに」では、「一連の課題についての検証は博覧会協会をはじめ、様々な主体において実施されているが、これらは後継組織にも引き継がれ、次期博覧会等への運営ノウハウの提供等の形で活かされていくべきもの」としております。なお、御指摘を踏まえ、大阪・関西万博に関する諸課題については、第4回 2025 年日本国際博覧会成果検証委員会で資料として公表いたしました。</p>